

ゼロカーボン社会を実現

豊かな自然と快適生活を未来へ



鳥取県は今年1月、2050年までに二酸化炭素(CO₂)排出量実質ゼロを目指す「脱炭素(ゼロカーボン)シティ」を宣言した。建物の省エネルギー(省エネ)化や企業の環境配慮経営を推進するなど、低炭素社会の実現に向けたさまざまな取り組みを進めている。豊かな自然と快適な生活環境を未来へ引き継ぎ、持続可能な社会をつくるため、企業や県民一人一人の具体的なチャレンジを呼び掛ける。

高断熱省エネ住宅

日々の暮らしの中で住まいのエネルギー消費を減らすことがCO₂削減を大きく促す。中でも断熱性の高い省エネ住宅は地球に優しいだけでなく、家族が快適健康に、経済的に生活する上で重要なキーワードとなる。

鳥取県は7月、県独自の省エネ基準を満たす「とっとり健康省エネ住宅(NEST-ネスト)」の認定と助成を始めた。基準は断熱・気密性能を「最低限」「推奨」「最高」の3段階のレベルで設定した。

エアコン一つでトイレや廊下、家の中のどこにいても年中春のような住心地を体感できるのが推奨レベルの認定住宅。国の省エネ基準で建てた場合と比べて、試算では初期費用が120万円多く掛かるが、年間5割の冷暖房費削減が見込めることから、15年後にはペイできる。

高断熱・高気密住宅は、結露によるカビの発生を抑え、きれいな空気の中で快適生活を送ることによりアレルギーやアトピーの改善効果があることもわかってきた。家中の室温を20度に保つことで、鳥取県内でも多い冬季のヒートショック死を予防できる「命を守る家」としても注目される。

企業の再エネ転換

国内でも電力の大きな使い手である企業が、自社で消費する電力を太陽光やバイオマスなどのCO₂を排出しない再生可能エネルギー(再エネ)に切り替えようとする機運は高まりつつある。

中小企業、自治体、教育機関などが全使用電力の再エネ転換を目指す「再エネ100宣言RE(アールイー) Action(アクション)」



水素を学ぼうキャンペーン

鳥取すいそ学びうむ(鳥取市五反田町)では、環境に優しい次世代のクリーンエネルギーとして注目されている「水素」について、楽しく、お得に学ぶことのできるキャンペーンを開催中。ホームページに掲載されている、水素エネルギーの特徴や活用方法を分かりやすく解説した動画を閲覧し、出題されるクイズに答えて専用のウェブフォームから応募すると、抽選で鳥取県産品がプレゼントされる。

12月25日(金)まで
すいそ学びうむホームページ
<http://suisomanabium.com/>

「とっとりエコサポーターズ」養成講座の受講者募集

鳥取県地球温暖化防止活動推進センターは、温暖化防止活動を実践する県民リーダー「とっとりエコサポーターズ」養成講座の受講者を募集している。10月未まで、受講無料。オンラインによる基礎研修(11月10日より3回開催)と実践研修(11月21日開催)がある。基礎研修では、日本の地球温暖化予測の第一人者で、国立環境研究所の江守正多氏を講師に迎える。すべての研修はライブ配信後、録画した映像を視聴できるようにする。県の委嘱は12月。エコサポーターズの登録者は今年4月現在、学生、社会人ら86人。問い合わせはフリーダイヤル(0120)897612。

県の環境施策方針

鳥取県は2019年度、30年度までの環境施策方針(令和新时代とっとり環境イニシアティブプラン)を定めた。長期目標であるゼロカーボンシティ宣言と併せて、低炭素社会の実現に向けた取り組みの方向性を示し、メッセージ性を高めている。

建物の省エネ化や企業の環境配慮経営のほか、環境や暮らしと調和し、家庭や地域、地元企業などが主体となった再エネ導入の推進や自立分散型の地域エネルギー社会の構築などの方策を示している。

県低炭素社会推進課の山本尚生係長は「子どもたちに豊かな自然と快適な生活環境を引き継ぐため、省エネを進めてCO₂を減らしながら、元気に楽しく暮らすための意識や行動の変化が大切」と訴える。地元の新鮮な食を味わう、列車やバスで読書しながら通勤する、家族や友達と外で遊ぶ、住まいを適切に修繕することも行動の一例であり、「省エネで無理をすることではなく、快適に楽しむライフスタイル」が求められる。鳥取の良さを生かしながら、環境への配慮と経済の進展を両立させ、持続可能な地域づくりへとつながることを見据える。

30年後の絵姿想像して

チーム「とっとりゼロカーボン・チャレンジ」意見交換、年内にも提言

家庭や企業のCO₂削減を「層推進するため、具体的な環境実践活動の手法について検討しているチーム」ととっとりゼロカーボン・チャレンジは、メンバーがオンライン会議で意見交換を進めており、年内にも提言をまとめる。ゼロカーボン実現を掲げる鳥取県の30年後の未来はどのようなのか、共有すべき絵姿を上り多くの県民が想像しやすいイラストにして、広く発信する。

同チームは、ゼロカーボンに関わる16人が参加しており、勉

か意義を含め、そもそもどんな強会などを通じて意見交換し、提言にしたいのかを本格的に話し合う場。鳥取県の委託事業「050年の鳥取県のあるべき社会」に話し合う場。鳥取県の委託事業「050年の鳥取県のあるべき社会」に話し合う場。鳥取県の委託事業「050年の鳥取県のあるべき社会」に話し合う場。

で、県地球温暖化防止活動推進センターが8月に立ち上げた「コンパクトなまち」「家庭や地域で使うエネルギーを再エネで賄う」などの絵姿を共有し、ワクワクするような鳥取型のライフスタイルをデジタルで訴えていく」と話している。

いる。その実現のためには「省エネに付きまとう不自由というイメージの打破」「気候変動対策が生活を豊かにする」という発想を根付かせるなど県民の意識改革を求める声もある。

事務局を務める同センターの本原リコ副センター長は「自分たちのフィルターを通して2050年の絵姿を共有し、ワクワクするデジタルで訴えていく」と話している。

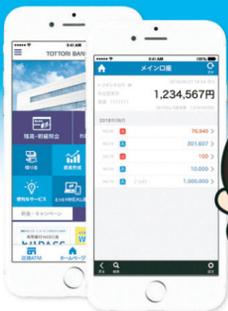
いつでもどこでも、かんたんに鳥取銀行!



鳥取銀行がもっと便利になるスマホアプリ!

あなたのスマホが通帳になる!

普通預金口座とキャッシュカードがあれば、今すぐご利用いただけます



ご利用は無料です!

最大5口座まで登録可能!

とりぎんアプリ

「残高照会」や「入金明細照会」が、いつでも、どこでも!

Android版



iOS版



「Android」は Google Inc. の商標・登録商標です。「iOS」は Apple Inc. の商標・登録商標です。

もう通帳の記帳や繰越は必要ありません!

既にお持ちの口座の切替えもできます!

鳥取銀行WEB口座 とりPASS

通帳を発行しない、インターネット専用の「普通預金口座」です。残高照会や入金金明細照会などは、インターネットバンキングで! とりぎんアプリといっしょに使用すれば、より便利!!



もはや通帳はペーパーレスの時代

メリット

- ①記帳や繰越のためにご来店いただく必要がありません
- ②通帳を発行しないので、通帳紛失や盗難の心配がありません
- ③最大13ヵ月分の入出金明細が照会可能



お申込み・詳細はウェブサイトから!

鳥取銀行 とりPASS



既にお持ちの普通預金・総合口座をお切替えの場合、砂丘ダイレクトサービスの画面からお申込みいただけます